

別府温泉史料館を主宰する安部浩之さん



安部浩之さん

別府市 温泉史料館

父の「温泉史料館」を守る



安部巖さん

「別府温泉湯治場大事典」などの著書を残し、郷土史研究の第一人者だった安部巖さんが生前、別府市上原町の自宅に開設した私設の温泉史料館を、息子の浩之さん(四)が引き継ぎ、貴重な文献や図書を大切に保管している。

教員だった巖さんは市内の小学校長、図書館長、

貴重な2220点を保管

「郷土のためになれば」

て集めた資料をまとめ、市内百九十六カ所の公衆浴場の名称、沿革、伝承などを紹介。郷土史研究者だけでなく、観光客にも参考になるよう分かりやすく解説し、多くの人に読まれている。

美術館長などを務める傍ら、学生時代からのライバル別府の浴場に寂しさをフワークだった郷土史研究を精力的に続け、一九八九年に六十八歳で急逝するまで、自らの足で集めた史料を教材として使えよう、整理・保管してきた。

八五年、自宅の別棟に「別府教育史料館」(当時約四十平方メートル)を開設。約四百二十点の文書・記録や約二百二十点の先人の著書をはじめ、約千八百点の古い教科書、教育資料などが並ぶ。

八七年に出版された別府温泉湯治場大事典は、巖さんが四十年近くかけて保管している。浩之さ

んは「将来、郷土史料を一堂に公開できる温泉博物館のような施設ができれば、お役に立てると思う。そのときまで、わたしが責任を持って保管したい」と話している。

別府温泉史料館の問い合わせ先は安部浩之さん(☎0977・23・1534)。